

中井工務店通信

初春号

2022.2

創刊第51号

発行: 中井工務店

〒569-2302 兵庫県丹波篠山市本郷670

TEL: 079-592-0266

<https://nakai-koumuten.com/>

春の便りが待ち遠しく感じられる種々の時節、いかがお過ごしでしょうか。この冬はかなり雪が多かったですね。まだまだ寒い日も続きますが、風邪などひかないようご自愛ください。今号では、1月末の客殿の上棟、2月に本堂の棟上げが予定されている三田市大川瀬の観音寺様の工事の様子、新築のお家、リノベーションカフェの事例をご紹介します。



三田市大川瀬 観音寺 本堂・客殿新築工事 2月の本堂の棟上げに向けて一つ一つ丁寧に作業しております。



兵庫県三田市大川瀬の観音寺様の本堂・客殿の新築工事をさせていただいております。大工も本社作業場で木材加工を終え、現場作業に切り替わりました。1月末に客殿の上棟を行いました。2月には本堂の上棟も予定しております。



【木鼻】柱を支える頭貫などの水平材が柱から突き出した部分のこと
元々は柱を貫通させ、直接加工していましたが、江戸時代以降、木鼻は装飾部位としての意味合いが強くなり、複雑な彫刻や大型化していき、職人としての技が競われる部位になったそうです。木鼻には獅子や象、麒麟、漢などがあるそうです。獅子鼻は外注しましたが、その他の木鼻は谷後大工と徳松大工が製作しました。



施工写真 丹波篠山市
設計：エイチ・アンドー級建築士事務所

設計：エイチ・アンドー級建築士事務所

施工：中井工務店

細かいディテールにもこだわったお家。無垢の杉板の天井が圧巻です。杉は、むかしから酒や醤油をつくるときの樽に使われていたように、雑菌の繁殖を防いだり、防臭効果があったり、湿度などを調整することに優れている木材です。弊社では床板に使うことも多いですが、柔らかいためキズがつきやすいのが難点です。天井ならキズの心配もなく、調湿効果が期待できますね。



施工写真 丹波篠山市
武家屋敷群鈴木家 門塀保存修理工事



丹波篠山市篠山伝統的建造物群保存地区に指定されている武家屋敷群の鈴木家の門塀保存修理工事をさせていただきました。

武家屋敷群は、篠山城跡の西堀側にあり、道の両側に平均八間（約14.5m）の間口をもつ、元々お徳士衆の家屋だった「旧武家屋敷」が十数棟残るエリアです。道に沿って泥土を固めてつくった築地塀（ついじべい）と茅葺きの棟門を構え、道から少し下がったところに入母屋造の屋敷を建てるという特徴があります。

家屋も茅葺きで平入りと妻入りがあり、棟の形はし字型に曲屋をつけてあるのが多いそうです。

丹波篠山市の城下町に来られた際にはぜひご覧ください。



丹波篠山市 Fika 様 リノベーションカフェ
鉄骨の農業倉庫をリノベーションしたコーヒESHOP



リノベーションカフェ。メインとなる工事を弊社で行い、仕上げ工事の一部をオーナー様にもご担当いただきました。半導体不足の影響で入荷がかなり遅れた機器もあり一部工事がなかなか進みませんでしたが、無事完成となりました。

弊社ではお客様に工事の一部をお手伝いしていただくことも可能です。床板の塗装や植栽の植え付けなどもしていただけます。左官の壁に手形を残されたり、植栽の名前カードを作成いただいたり…こんなことがしたいというご希望がございましたらぜひご相談ください。世界にふたつとない、思い出の詰まったお家にしていただけます。



元々海外でバリスタをされていたオーナー様。お店ではコーヒーとスパイスカレーを提供されるそうです。店舗の場所やオープン時間等は、中井工務店のホームページにFika様のInstagramを掲載しておりますので、そちらでご確認ください。



社長コラム



私の母校「篠山産業高校」の電気建設工学科（旧土木科+電気科）が来年度より授業のカリキュラムを変更し、卒業後すぐ二級建築士の受験資格が得られるようになると先日の新聞に書いてありました。地元の工務店経営者としては非常にありがたいことですし、建築に興味を持ってもらう機会が増えることも大変喜ばしいことだと思います。

また、地元の土木会社も多くの公共建築工事に携わっていますし、例えば電気会社も建築の知識を持った生徒を受け入れ、電気技術者として育てることができるようになり、今後会社の強みになると思います。

近ごろ、地元の3つの高校で定員割れが起きていますが、各高校とも丹波篠山市や地元の民間企業と協力し、改善すべく様々な努力をされています。

私は、ありがたいことに高校から推薦を受けて大学に行きました。一級建築士の資格も取れ、現在は工務店を経営しております。卒業して30年近くたちますが、多くの同級生や先輩・後輩に仕事を手伝ってもらったり、依頼していただく機会も多いです。高校でお世話になった先生にもご依頼いただくこともあり、高校時代をまじめに過ごしておいてよかった！と思う毎日です。

「高校選び」は人生においても大変重要なことなので、進みたい道、進むべき道をじっくり考えて選んでほしいと思います。今後とも高校生に憧れてもらえるような会社づくりを頑張っていきます。

ご予約随時受付中



オンライン相談会

家づくりの基本から知りたい方
デザインや間取りについて聞きたい方
資金計画を相談したい方
土地や移住のことを相談したい方 *移住相談は丹波篠山市内限定

遠方にお住まいのお客様、コロナ禍でなるべく外出を控えたいお客様にもお気軽にご相談いただきたいので、Zoomを使ったオンライン相談会のご予約を随時受け付けております。

お手数ですが、ホームページのイベントページからお申込みください。

「丹波篠山の家」の内覧ご予約も受け付けております。

いらぬモノに囲まれた煩雑な暮らしを見直して、シンプルで居心地よい住まいを目指しましょう！

モノが多すぎて片付かない、でも収納はいっぱいでどうしていいかわからない……そんな狭小路にはまってしまったら、思い切って処分してみよう。

モノが多すぎて片付かない、でも収納はいっぱいでどうしていいかわからない……そんな狭小路にはまってしまったら、思い切って処分してみよう。

思い入れのあるモノは写真に収めて

モノは少し下ろしに、整理する上で役立つモノと向き合うことです。

モノが増える理由には、「捨てるのが怖い」「まだ使うかも、もったいないから」といった心理が潜んでいる。分断してラックに収納することをおすすめします。洋服は「よく着る／あまり着ない」1年以上着ていないなど、しばらく着ていない服は、それが必要なのかわからないものをチェック。サイズが合わない、破損がある、趣味が変わったなどの特徴があるものは、深くお別れしましょう。

分類してラック付け客観的に判断しよう

モノが増える理由には、「捨てるのが怖い」「まだ使うかも、もったいないから」といった心理が潜んでいる。分断してラックに収納することをおすすめします。洋服は「よく着る／あまり着ない」1年以上着ていないなど、しばらく着ていない服は、それが必要なのかわからないものをチェック。サイズが合わない、破損がある、趣味が変わったなどの特徴があるものは、深くお別れしましょう。

暮らしの通信

暮らしのヒント 食品ロスを減らすために

買いすぎ、作りすぎに注意。保存方法も知っておこう

食品ロスとは、本来食べられるはずの食品を捨ててしまうこと。家庭では食べ残しなどが主な原因になります。食品ロスを減らすには、買い物前の冷蔵庫チェックが効果的。不要なものを買わず、また、食事は作りすぎないように心がけましょう。正しい保存方法で、食材を長持ちさせることも大切です。



暮らしのレシピ 白菜と豚バラの煮込み & 白菜の即席漬け

冬野菜の代表、白菜を使った温冷2つのレシピです。



白菜と豚バラの煮込み

▼材料(4人分)

白菜	400g
豚バラ肉(薄切り)	300g
酒	大さじ3
しょうゆ	大さじ2
みりん	大さじ2
顆粒だし(和風)	小さじ1
塩	適量
片栗粉	大さじ1

▼作り方

【下準備】白菜は葉と白い部分に切り分け4〜5cmのざく切り。豚バラ肉は4〜5cm幅に切っておく。

①鍋に白菜、豚バラ肉の順に入れ、酒をふりかけたらふたをして、5分を目安に弱火にかける。

②白菜がしんなりして水分が出てきたら、かきまぜ、しょうゆ・みりん・顆粒だし・塩を加えてふたをする。そのままだと中火で煮込む。

③④弱火にして水(大さじ2、分量外)で煮いた片栗粉を少しずつ加える。好みの加減にとろみがついたら、火からおろして盛り付ける。

白菜の即席漬け

▼材料(4人分)

白菜	4枚
塩	小さじ1杯
黒の昆布	1本
顆粒だし(和風)	小さじ1
昆布茶(粉末)	小さじ2

▼作り方

【下準備】白菜は縦半分に、黒の昆布は縦半分に切って水を洗い除く。

①大きめのビニール袋に白菜と塩を入れて揉み込む。

②③黒の昆布と顆粒だし、昆布茶を加えてさらに揉んだら、袋の口をしばって冷蔵庫へ。1時間ほど置いたら食べごろに。

手放してすっきり
いらぬモノ
あれこれ



モノと向きあふためには、モノを減らすことが必要です。モノを減らすことで、生活がシンプルになり、居心地よい住まいが実現します。

暮らしのヒント

暮らしのヒント

暮らしのヒント

暮らしのヒント